DIALOG(R)File 351:Derwent (c) 2000 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

007184212

WPI Acc No: 1987-181221/198726

Pick-up device performing appropriate gain control - provides picture centre signal level by judging whether picture periphery is in condition containing light source NoAbstract Dwg 0/7

Patent Assignee: MATSUSHITA ELEC IND CO LTD (MATU) Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Week

JP 62110369 A 19870521 JP 85251401 A 19851108 198726 B

Priority Applications (No Type Date): JP 85251401 A 19851108

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes

JP 62110369 A 15

Title Terms: PICK; UP; DEVICE; PERFORMANCE; APPROPRIATE; GAIN; CONTROL; PICTURE; CENTRE; SIGNAL; LEVEL; JUDGEMENT; PICTURE; PERIPHERAL; CONDITION; CONTAIN; LIGHT; SOURCE; NOABSTRACT

Derwent Class: P82; U24; W04

International Patent Class (Additional): G03B-007/28; H04N-005/24

File Segment: EPI; EngPI

Manual Codes (EPI/S-X): U24-C01; W04-M01D

A PAGE BLANK (USPTO)

DIALOG(R)File 347:JAPIO
(c) 2000 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

02193469 **Image available** > no mage IMAGE PICKUP DEVICE

PUB. NO.: 62-13

62-110369 A]

PUBLISHED: May 21, 1987 (19870521)

INVENTOR(s): FUJIOKA ATSUSHI

MORIMURA ATSUSHI KITAMURA YOSHINORI MATSUOKA HIROKI

APPLICANT(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD [000582] (A Japanese Company

or Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: FILED:

60-251401 [JP 85251401] November 08, 1985 (19851108)

INTL CLASS:

[4] H04N-005/243; G03B-007/28; H04N-005/235

JAPIO CLASS:

44.6 (COMMUNICATION -- Television); 29.1 (PRECISION

INSTRUMENTS -- Photography & Cinematography)

JOURNAL:

Section: E, Section No. 550, Vol. 11, No. 320, Pg. 79,

October 17, 1987 (19871017)

ABSTRACT

PURPOSE: To correct signal level of a main object at the center properly in backlighted shot etc. by detecting the level of an image pickup signal of the center of a picture and the signal of peripheral parts, making arithmetic processing making the two detection output signals input, and controlling amplitude of image pickup signals by the arithmetic output signal.

CONSTITUTION: Output signals of an AD conversion circuit 10 are supplied to gate circuits 14, 16. Circuits 14 and 16 supply image pickup signals of the center of a picture and peripheral part to level detecting circuits 15, 17 respectively. Detecting circuits 15, 17 output average values P(sub 1) and P(sub 2) of amplitude of image pickup signals of the central part and peripheral part of the picture respectively. A mixing circuit 19 finds out an average value P(sub 0) of the whole picture making P(sub 1) and P(sub 2) input. A comparator circuit 20 compares the value P(sub 0) and a reference level VT and outputs an error signal, and a driving circuit 9 drives a diaphragm 2 by the error signal. On the other hand, values P(sub 1), P(sub 2) are supplied to an arithmetic circuit 18. The arithmetic circuit 18 has characteristic as shown in the figure, and indicates P(sub 2)/P(sub 1)=k. The vertical axis is output signals of the arithmetic circuit 18 and determines gain of a gain control circuit 11. Accordingly, the average level of the central part is corrected properly by giving gain of (1+k)/2to the circuit 11.

HIS PAGE BLANK (USPTO)

⑩公開特許公報(A)

昭62 - 110369

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

43公開 昭和62年(1987)5月21日

5/243 H 04 N G 03 B H 04 N 7/28 5/235 8523-5°C 7811-2°H 8523-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

劉発明の名称 损像装置

> ②特 昭60-251401 願

❷出 줼 昭60(1985)11月8日

岡 敦 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 四発 明 者 藤 淳 門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内 眀 者 森 村 ⑦発 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内 明 俇 徳 @発 老 北 村 明 者 岡 宏 樹 @発 松

松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地 松下電器產業株式会社内 門真市大字門真1006番地

20代 理 弁理士 中尾 敏 男 外1名

1、発明の名称

包出

豠 人

摄像装置

2、特許請求の範囲

(1) 機像画面の中央部の機像信号のレベルを検出 する第1 レベル検出部と、前配撮像画面の中央部 を除いた周辺部の機像信号のレベルを検出する第 2 レベル検出部と、前配第1 レベル検出部と前記 第2レベル検出部の出力信号を入力として演算処 理を行う演算部と、前記演算部の出力信号により 撮像信号の振幅を変えるゲインコントロール部と を備えたことを特徴とする撮像装置。

(2) 演算部が、第1 レベル検出部の出力信号P₄ と第2レベル検出部の出力信号 P2 との比の値

P₂ が、予め定めた値より大きい時のゲインコン

トロール部の利得Gが基準となる利得Goに対し てG≥G。を満たし、前記比の値が前記予め定め た値より小さい時のゲインコントロール部の利得 Gが $G \leq G_O$ を満たすよりな信号を出力すること

を特徴とする特許請求の範囲第1項記載の撮像接

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明はビデオカメラ等の撮像装置に関するも ので、特に、面面の状態に応じて適正を利得制翻 を行う機像装置に関するものである。

従来の技術

ビデオカメラにおいては、人物等の主要被写体 と背景に平均的に光が当っている版光の場合を振 像したときは良好な画像が得られるが、空を背景 にして人物等の主要被写体が画面の中央に位置す る逆光の場合を娘像したときは被写体が暗くなる 欠点があった。とれは、従来の絞り制御機構が撮 僚倡号の平均 レベル、あるいはピークレベルを一 定にするように制御されているためである。

第2図は、1フレームの撮像信号から画像を細 かく小領域に分割し、面面上での明るさとその明 るさを有する小領域の度数の関係を示したもので あり横軸には画面上での明るさに対応した撥像信

母のレベルを目盛ってある 2 図(a)は、 原光機像の場合であり機像信号の平均レベルAVを中心とした分布をしている。 この時、一般的に面面中央に位置する主要被写体の平均レベルと機像信号全体の平均レベルAVとは等しくなるため、平均レベルで絞りを制御すれば主要被写体は適正なレベルを得られる。

第2図(b) は逆光操像の場合であり背景の非常に明るい領域が振幅の大きい部分に第1の山を形成し、さらに人物等の主要被写体が振幅の小さい部分に第2の山を形成している。この時、画面中央部の主要被写体の平均レベルP1と画像信号全体の平均レベルAVとは異なっており、平均レベルAVで絞りを制御すれば主要被写体が暗くなってしまり。

そとで、従来方式を改良した絞り制御装置が発表されており、例名ば特開昭55-87129号公報に示されている。

第7図はこの従来の絞り制御装置のプロック構 成図を示すものであり、1 はレンズ、2 は絞り、

のを防いている。

発明が解決しようとする問題点

しかしながら上記のような構成では、非直線増 福回路8の特性で所定レベル以上の信号を圧縮す ることにより補正を行りため不適正な補正が行わ れる場合がある。例えば画面が一様でかつ非常に 明るい場合には、機像信号が非直線増額回路6に より圧縮されてしまい平均レベル検出回路7の出 力信号が補正しない場合に比較して絞りを開く方 向に変化することになり問題である。また、非直 線増福回路6の画面中央部の利得を周辺部の利得 より大きくして、周辺部の撮像信号の影響を小さ くしても強い光源が画面周辺部に位置する場合に は画面中央部はその影響により若干暗くなる。一 方、画面周辺部の影響を無くすために非直線増幅 回路6の周辺部の利得を零とした場合は、強い光 深が画面周辺部に入った時機像デバイス3の出力 信号が飽和してしまい問題であった。

本発明はかかる点に鑑み、逆光時や周辺部に光 原等を含む被写体を操像した時に、画面中央部の 3 仕機像デバイス、4 h デバイス3の出力信号を増幅して所定レベルの機像信号を得るための増幅回路、8 はガンマ補正等の信号波形処理を移り信号処理回路、8 は振像信号が増加すると増幅回路の絶対値を減少させる特性を有する非直線増幅回路の出力信号の平均にでがある。9 は較りを駆動する駆動回路である。

以上のように構成された絞り制御装置において は、非直線増幅回路のを、第3図に示す特性にす るととにより逆光に相当する機像信号の提幅を大 縮して、平均レベル検出回路での出力信号が大 くないようにしている。また、一般に機像値 たい主要被写体は中央部にあるので非直線増幅を 路のの面面中央部の利得を周辺部の利得信号に として、選光時や大 後の映数りが閉じて面面中央部が暗くなりする 後の映数りが閉じて面面中央部が暗くなりする

主要被写体の信号レベルを利得制御により適切に 補正する歳像装置を提供することを目的とする。

問題点を解決するための手段

本発明は撮像画面の中央部の撮像信号のレベルを検出する第1レベル検出部と、前記撮像画面の中央部を除いた周辺部の撮像信号のレベルを検出する第2レベル検出部と、前記第1レベル検出部と、前記第2レベル検出部の出力信号を入力として資算処理を行う資質部と、前記資質部の出力信号により撮像信号の振幅を変えるゲインコントロール部とを備えた機像装置である。

作用

本発明は前記した構成により、演算部が、第1 レベル検出部の出力信号P₁と第2レベル検出部 の出力信号P₂とを演算処理することにより画像 周辺部に光源等を含んだ状態かどうかを判別し、 その状態に応じてゲインコントロール部の利得を 連続的に制御して画像中央部が適正な信号レベル になるように補正を行うものである。

実 施 例

第1図は本発明の第1の実施例 ける提像装 置のブロック構成図である。第1 まておいて、1 はレンズ、2は絞り、3は操像デバイス、4は増 毎回路で、以上は第7図の構成と同様なものであ る。10はAD変換回路で扱像信号をディジタル 化する。11はAD変換回路10の出力信号と資 算回路8の出力信号とを乗算する機能を有するゲ インコントロール回路でゲインコントロール部を , : 構成している。6 a はガンマ植正等の信号処理を 行い映像信号を出力する信号処理回路、12はデ ・ィジタル化した映像信号をアナログに変換するDA 変換回路である。AD変換回路10の出力信号は ゲート回路14、ゲート回路18に供給される。 ゲート回路14は第4図に示す振像面面において 斜線で示した画面中央部 S₁ の撮像信号をレベル 検出回路16に供給し、ゲート回路16は面面周 辺部S₂の操像信号をレベル検出回路17に供給 する。13はゲートパルスを発生してゲート回路 を制御するゲートパルス発生回路である。

・レベル検出回路15はゲート回路14の出力信

周辺部の機像信号の平均値の比P₂/P₁ であり、 経軸は演算回路18の出力信号でありゲインコン トロール回路11の利得を決めている。

以上のように構成された本実施例の機像装置に ついて以下その動作を説明する。

画面周辺部に光源等を含んだ機像の場合、画面周辺部の機像信号の平均レベル P2 と画面中央部の平均レベル P1 は第2図(に示すようになる。ここで絞り2は上式で示したように P1 と P2の平均値 P0 で制御するために一般に主要被写体が位置する画面中央部が暗く映ることになる。一方、P1 と P2 の比を k とすると

$$k = \frac{P_2}{P} \qquad \therefore P_2 = kP_1$$

これを(1)式に代入すると

$$P_O = \frac{1}{2}P_1 + \frac{1}{2} \cdot k P_1$$

$$= (\frac{1+k}{2}) P_1 \qquad \cdots (2)$$

号を加算平均して画面中央部域 1号の振福の平均値P1を出力し、レベル検出 17はレベル検出回路15と同様な回路で画面周辺部操像信号の振幅の平均値P2を出力する。ゲート回路14とレベル検出回路15は第1レベル検出部を構成し、ゲート回路16とレベル検出回路17は第2レベル検出部を構成している。

1 8 はレベル検出回路 1 5 の出力信号 P_1 とレベル検出回路 1 7 の出力信号 P_2 を入力として画面全体の平均値 P_0 を

$$P_0 = \frac{1}{2}P_1 + \frac{1}{2}P_2$$
 (1)

で求めて出力する混合回路、20は混合回路19の出力信号と基準レベルVT とを比較して誤差信号を出力する比較回路、9は前記誤差信号により絞り2を駆動する駆動回路である。

一方、レベル検出回路15とレベル検出回路17の出力信号は演算部を構成する演算回路18に供給される。演算回路18は第5図(a)に示す特性を有する。第8図において機軸は画面中央部と画面

以上のように本実施例によれば、自動絞り制御 接置を有する提像装置において、画面周辺部に登 光灯等の光源が入った時に、その影響を受けて画 面中央部が暗く映っていたのを、ゲインコントロ ール回路の利得を制御して適正な明るさに自動的 次に、第1 実施例の演算回路18、混合回路19 の特性を変えた他の実施例を以下に説明する。

前記実施例において混合回路19は画面周辺部と画面中央部の振幅の平均値を単純平均して画面全体の振幅の平均値を求め絞りを制御していたが、周辺部の機像信号が絞りの制御に大きく影響しないように画面中央部に重み付けをした絞りの制御も可能である。混合回路19の出力信号Rwが

 $P_{W=m_1}P_1 + m_2P_2 \cdots (3) \quad (m_1 > m_2, m_1 + m_2 = 1)$

で示されるとき画面の中央部に重み付けられた数りの制御が行える。このとき、 $P_2=kP_1$ を図式に代入して

$$P_W = m_1 P_1 + m_2 \cdot k P_1$$

= $(m_1 + m_2 k) P_1 \cdot \cdots \cdot (4)$

線と同じ傾きで利得を上げている。との方法によれば、画面中央部のレベルは若干小さめになるが $0 \le \frac{P_2}{P_1} \le 2$ の範囲ではグインコントロール回路11の制御が簡単で、さらに利得補正のできる範囲が第2の実施例に比較して拡大している。

発明の効果

以上説明したように、本発明によれば、逆光や 光源等を画面の周辺部に含んだ被写体を撮像した 場合に、従来画面中央部が暗く映っていたのを適 正な明るさになるように自動的に補正することが できる。したがって、画面中央部の主要被写体は 画面周辺部の光顔あるいは空などの影響を受けな いて一定の明るさを維持することができる。

4、図面の簡単な説明

第1図は本発明における一実施例の撮像装置のプロック図、第2図は撮像面面の明るさと度数の関係を示す図、第3図は従来の撮像装置の非直線増幅回路の特性図、第4図は撮像画面の分割図、第5図は本発明の各実施例の資準回路の特性図、第6図は本発明の実施例のガンマ特性図、第7図

となる。よって P_1 と P_2 と E に

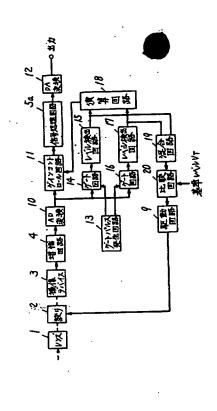
この第2の実施例においては、画面中央部に建み付けした按りの制御を行うことによって演算回路18の特性曲線がなだらかになり、第1の実施例と比較してゲインコントロール回路11の最大利得は同じでも画面中央部を一定レベルに補正できる画像の範囲はPP1 の値で4/3倍に拡大しており、第1の実施例と比較してより多くの場面で光源等による影響のない機像が可能である。

なお、第1および第2の実施例における演算回路18の特性は任意に決めることができる。例えば、第2の実施例における別の例として第6図 (P_2) ≤ 2 ≤ 2 の範囲はゲインコントロール回路11の補正量が少ないために利得1で近似し、2 $< \frac{P_2}{P_1}$ の範囲は第5図 (P_2) の範囲は第5図 (P_3)

は従来の機像装置のプロック図である。

2……絞り、5 a……信号処理回路、1 1…… ゲインコントロール回路、1 3……ゲートパルス 発生回路、1 4 , 1 6……ゲート回路、15,17 ……レベル検出回路、1 8……演算回路、19… … 混合回路。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

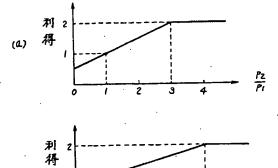


(a) を (b) を (b) を (c) を (c) を (d) 接信レベル

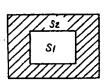
第 3 図

 第 5 図

(b)



第 4 図



-417-

部 7 図

